

95夏祭り

8月19日(土)



けやき自治会
山の辺の公園

模擬店 4:00~9:00
バザー 5:00~8:00
ゲームコーナー



つばき自治会
プラザパーク

バザー 1:00~2:30
模擬店 5:00~8:00
ひまわり合唱団 7:00~



あかしあ自治会
はなみずき
第4児童公園 グランド

子ども樽みこし 4:00~
模擬店 5:00~9:30
ジャズ生バンド演奏

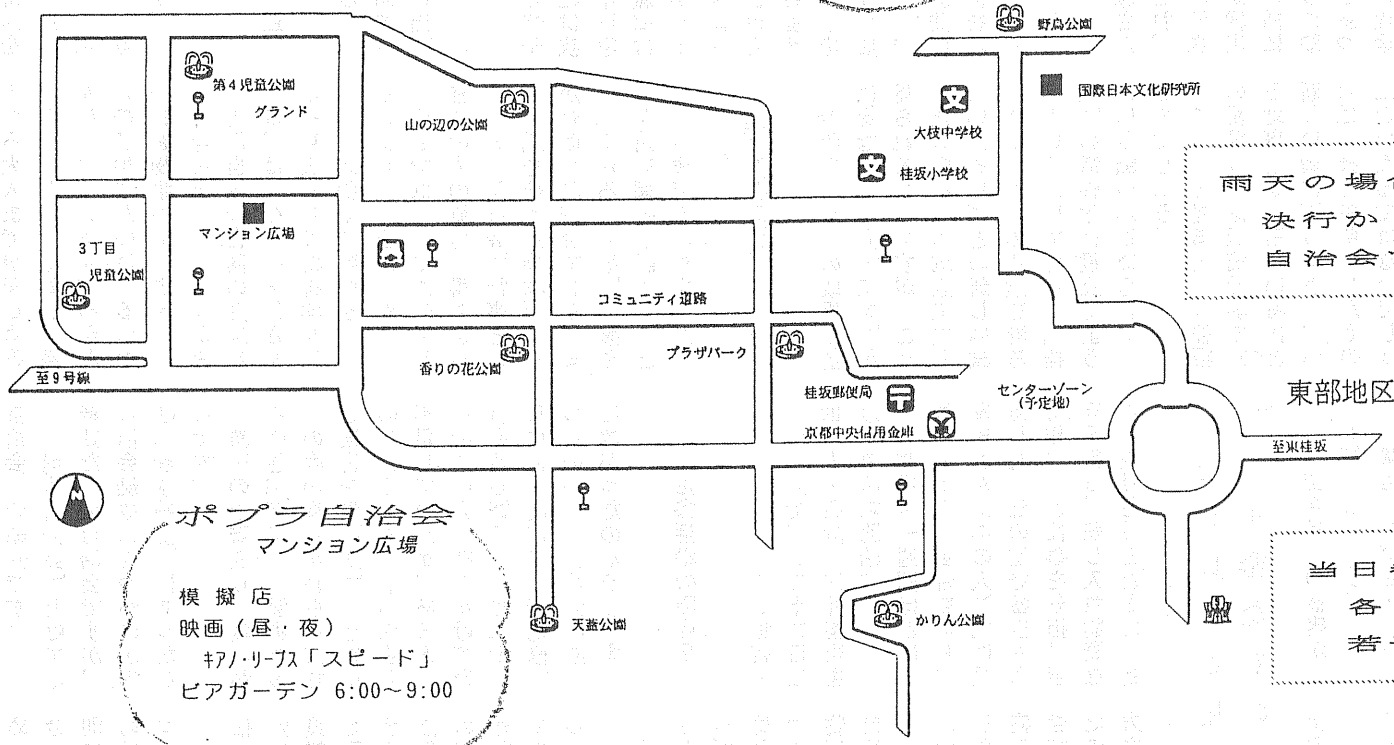


ひいらぎ自治会
香りの花公園

模擬店 4:30~8:00
落語[林家染吉] 5:00~5:30
映画「ジュラシックパーク」
7:00~9:00



19950812
[9504]
総24号
発行
桂坂
自治連合会
広報編集部



雨天の場合は—
決行か 順延か
自治会で違います

当日券は—
各自治会とも
若干あります

ポプラ自治会
マンション広場

模擬店
映画(昼・夜)
キア・リクス「スピード」
ピアガーデン 6:00~9:00

しらかば自治会
3丁目児童公園

模擬店
バザー



さつき自治会
天蓋公園

バザー 3:30~
模擬店 5:30~
祇園太鼓 8:20/9:10

かえで自治会
かりん公園

模擬店 5:30~8:30
マンドリン独奏 7:00~7:30
似顔絵コーナー 6:00~8:00



名月観賞の夕べ

— 区民文化のつどい —

とき 九月九日(土) 午後 四時~九時
ところ 櫻原摩寺史跡公園

(京都市バス・京都交通バスともに「三の宮」下車、西へ徒歩で約五分)
出演 桂坂・山の手倶楽部コーラス部
● 赤とんぼ ● 忘れな草をあなたに ● 荒城の月

六時三〇分に
出演します
心に歌うことによつて体内の新陳代謝をよくし、いつでも元気で楽しくうたつていこう、これが幸せであり喜びではないかと考えて月に二回の練習を続けています。

「桂坂・山の手倶楽部」の中で、平均年齢7歳の有志の女性余名が、女学生時代にかえつて、懐かしい日本の曲を歌います。
若い方のコーラスからすれば、ご満足いただけるようなテクニクも声も持ち合わせてはおりませんが、ご観覧いただき、温かい目浮き世の憂さも何も忘れ無

（コーラス部）
みなで一生懸命うたいますので、意のあるところご斟酌いただき、温かい目合わせはおりません。が、ご聞きください。

舗装工事遅延の お知らせ

施工期間 八月二〇日~八月三十一日
施工時間 午後九時~午前六時三〇分

西京土木事務所の管理の下に行われていた桂坂口・交差点の舗装復旧工事は、長雨等のせいで、工事が大幅に遅れたそうです。
前記の期間内に最終工事を実施するので沿道の皆様

とあるのは、「バレーボール大会」の誤りでした。関係者の方にご迷惑をおかけしました。ここに訂正して、お詫びいたします。

「自治会対抗ソフトボール大会」
編集部

「夏祭り」にことよせて

(「京都」)

今年の祇園祭は、天候に恵まれ本来の暑さの中で執り行われた水都大阪の天神祭とは逆で、雨に祟られてビニールをかけたままの山鉾巡行、町衆の心意気も存分には発揮できずにしまいました。

現在では各鉾町・山町ともに顕著な街のドーナツ化現象の煽りを食らって、貴重な無形文化財の維持・発展に苦勞し、他所から新たに心と血を補ってでも活性化を計るのに懸命です。

祇園祭

この祇園祭は、今から千百年ほど前、大流行した疫病を払うべく祈願した祇園会に始まるといわれます。「鉾山の美麗、人の耳目を驚かす」といわれるほどの隆盛を極めていた祇園会も応仁の乱による都の荒廃から一時は中断したものの、一六世紀に入ると町衆と呼ばれる実力を備えた商人たちの手で絢爛豪華な祭りとして再興されました。

ここでこの伝統行事・祇園祭を支えてきた「町衆の力」について、林屋辰三郎氏の『祇園祭』(東大出版)と岩波新書『京都』をもとにスケッチしてみます。

町衆の力と祭り

祇園祭に当たって「例年町から出す作山は趣向を相談し、工夫をこらしたものと

八月十六日の五山の送り火が大の宇、妙法、舟形を織りなして先祖の魂を送った後は、二十三、四日の化野の念仏寺の千灯供養、町中の地蔵盆が続きます。

住む人の心と生活に根づいた地蔵盆

昨年夏の広報『桂坂』に喜多みどりさんが往時を回顧して「地蔵盆の思い出」を寄稿されました。

では、この祇園祭や大文字の送り火、地蔵盆など京都の夏を彩る行事には、どのような意義が見られるのでしょうか。

「祇園会が夏の烈日のもとに行われる動的な民衆の示威である」とすれば、大文字は初秋の宵をかざる静的なものであったし、祇園会が下京の力を象徴するとすれば、大文字は上京を代表するものといってもよいであろう。京の町々に特徴的な八月二十三、四日の地蔵盆はまったく子供たちのお盆だが、町衆としての連帯感、このような子供ごころにも養われてきた。いわば京都の町々で行われる素朴ながらも社会教育の機会であったといつて過言ではあるまい。町の入り口にかざられる大行燈、軒々に吊られる小行燈、そこにえがかれるさまざまの文字や絵のなかでも、子供たちは幾つかの思い出をもって育てられて行くのである」と。

この新しい街「桂坂」でも、夏祭りは、年々自治会ごとに趣向が凝らされ、子供から大人までが楽しめる夏の日として定着し、盛んになっていきます。ゆかた姿の子供さんの増えるのがそれを物語っています。昨年のおかしあ・はなみずき両自治会合同の夏祭りでは、はつぴ姿の子供さんが掛声よろしく樽神輿を担いで、威勢よく町内を練り歩きました。また、かえで自治会では、PTAや少年補導の方の協力を得て自治会内の「子供会」行事として型紙を使った染物づくりが企画され好評でした。また「よかるう太鼓」の撥ち音が遠い郷愁を誘ったことはいままでもありません。

桂坂の夏祭り

今年も、昨年の成果を基に更なる「趣向・工夫」が見られるようですが、こうした「町衆」の創意工夫ともいえる年ごとの新しい試みには、町内の親睦を計ろうというだけではなく「桂坂」の活性化に役立てようという願いがこめられているのでしよう。

こうして見ると、「桂坂の夏祭り」は伝統行事である地蔵盆を、新しい時代と新しい街に合うように、いわば「換骨脱胎」したものだといえるのではないのでしょうか。

「屋根自治会」

話題はあらぬ方向に跳びます。今年の三月十一日の

「毎日新聞」に、一つの取材記事が載っていました。被災した神戸の「上野屋根自治会」の紹介です。「屋根自治会」とはまた奇妙な名の自治会ですが、自治会結成のきっかけが実は「屋根補修」にあったからです。

灘区の上野通りは戦前から住宅街で、「震災で多くの家が屋根がわらが落ちる被害を受けた」。補修用のビニールシートも人手も不足していたが、ある人が「近所の人に呼びかけて資材を持ち寄り、一月二十一日に住民総出で一斉補修」したのが、「自治会結成」に繋がったのだそう。

自治会活動の原点?

世話人の主婦、河野則子さんは、「屋根の教訓を忘れず、コミュニケーション豊かなまちを自分たちの手でつくっていききたい。救援物資を分配する形式だけの自治会ではだめ」と訴え、また、中心となった友田さんは、「私たちは血を提供したようなもの。その上に盛る料理はみんなが持つてきてくれた。ここまでこれたのは、若い人から年配の方まで自分の役割をそれぞれ

空き巣にご用心 不審なものは一〇番

「空き巣」の被害がなお続くようです。最近、つばき・しらかばの各町内で、相繼いで空き巣にやられました。人の目をうまく避けられる死角のあるところを事前に下見して、犯行に

れ考えたから。今後も地道な活動を続けていきたい」と話しています。

人とのふれあいを!

阪神大震災から半年が経ちます。防災計画などいざ見直されたものが配布されるでしょうし、そのマニュアルに合わせて訓練も大いにやっておかねばなりません。しかし、災害に際しては対処してくれるはずはあってもこちらの望むとおりにありません。神戸の場合を見ても人手の確保など一切、マニュアル通りにはいかな

「屋根自治会」の人たちの体験を私たちに引き当てて考えれば、自治会を設立した初めの頃の初々しい気持ちに帰って諸々のこと、身近のことを考えてみることも、これが大切かも知れません。

私たちのこの京都には、「町衆」の創意・工夫、そして何よりも町内に住むものの連帯感によって、祇園祭などの祭りが維持され発展して来たという伝統があります。

身近なことでは常日頃、隣近所で交わされる挨拶、一見不用にも思えるおしゃべり、そして自治会や自治連合会、各種団体、災害時には恐らく「桂坂」地域の救援の拠点となるはずの小学校のPTAなどが催す様々な集いに参加して「顔を売り込」み、「町衆」としての連帯感を培っておくこ

古紙はできるだけPTAの回収日に

業者の中に、古紙やダンボールを受けとりながら、大量のダンボールを公園や空き地に捨てて帰る悪質なものがいるようです。できるだけPTAの古紙回収の日にお出しください

この夏祭りは、「町衆」としての創意・工夫が凝らされ、エネルギーがふんだんに発露されているはずで床几に腰を下ろしてちよつとビールを飲みながら談笑に耽るといったことすらも、「桂坂」の文化の普及には格好の「基点」となるのでしよう。「屋根自治会」の方は「だれにとつても初めての経験で、すべて話し合い」で運営しており、「会員となるべく話をすること」も重要だった、といっておられます。日常のちよつとしたことですが、傾聴すべきことばです。



文化

第6回 日文研

現代芸術とアジア
—— 崔洋一の世界 ——

『月はどつちに出ている』
作品上映

九月九日 午後一時
九四〇円 500名